

平成 26 年 9 月の市民の声（全 4 通のうち 3 通）

市民の声の内容とそのお返事の一部を紹介します。

◇旧西五十沢小学校のその後について

【ご意見・ご提案など】

旧西五十沢小学校のその後はどうなるのか教えてください。

【お返事】

旧西五十沢小学校は、平成 23 年 3 月末の閉校に伴い、有効な活用方法を検討してまいりました。その結果、日本電産コパル精密部品(株)（現新潟日本電産コパル(株)）と企業立地に関する基本協定を結んだ後、平成 23 年 7 月 15 日に旧校舎および体育館を無償で譲渡いたしました。

これは、同社の福島県内 2 工場が東日本大震災により工場移転を余儀なくされたことから、被災企業に対する支援という観点のほか、地元雇用の確保、地域経済の活性化という点からも必要な措置であるとの判断からであります。

その後、新潟日本電産コパル(株)では既存の事業のほかに、福島から移転した新たな事業である金型部門についても、旧校舎を活用しながら操業を続けておりましたが、市内で技術系社員の人材確保ができなかったこと、また福島から異動してきた社員の帰郷希望が強くなったことなどから、金型部門については、平成 26 年 4 月 1 日付けで郡山工場に再度の移転となりました。

現在、旧校舎の一部は空きスペースとなっておりますが、同社では新たな成長分野への事業展開に向けて、今後も旧校舎および体育館は工場や倉庫などとして、引き続き有効に活用していく計画であります。

なお、旧西五十沢小学校校舎取得後の同社の当初の予定では、2～3 年後に旧グラウンド用地に新社屋建設の計画もありましたが、遺跡調査の必要性や経済状況の変化などから、その計画は中止となり、グラウンド部分につきましては南魚沼市との賃貸借契約を平成 26 年 4 月に解消し、現在は市の管理となっております。

今後、グラウンド部分についてはどのような活用ができるのか検討してまいりますが、方針が決まるまでの間、地域の皆さまが一時的に利用することはできませんので、必要な場合は遠慮なくご相談ください。

（担当：商工観光課）

◇議会の一般質問に対しての教育長の答弁について

【ご意見・ご提案など】

秋田の小中学生の成績の向上に対して、平均的が教育長の 73.1 ポイントという言葉に対して、「ポイント」とは何か、教育の場面で使用されているとは知らず、違和感がありました。私達一般市民は平均点で何点と言われた方がわかりやすいのです。「ポイント」という言葉が教育の場面では、軽い言葉に聞こえました。勝又議員の質問に対して、答弁が簡潔でなく、時間ばかり費やしているところがあり、市民の声に対しての議員の質問に、わかりやすく答えていないように思えました。

秋田県の成績向上には現場の先生と生徒が信頼関係を築くところから、お互いに努力をされてきたとっていました。本当に秋田での研修は成果があったのでしょうか。現場で生かす教育をして頂けるのでしょうか。

初めて傍聴して、一市民として勉強させていただきました。少し残念な気持ちにもなりました。

【お返事】

勝又議員の一般質問に対して、答弁が端的でなく、分かりにくく、初めて傍聴していただいた市民の方の期待を裏切ってしまった。心からお詫び申し上げます。

今後、いただいたご意見を活かし教育行政の責任者として、誠心誠意取り組んでまいります。

ご指摘の事項についてお答えいたします。

1. 南魚沼市の教育水準について

平均正答数並びに平均正答率で説明いたします。

全国学力テストは、小学 6 年生と中学 3 年生を対象に実施しました。

テストの内容は、小学校が国語と算数、中学校が国語と数学で、それぞれ知識力を問う A 問題と、知識活用力を問う B 問題に分かれております。

	小学校国語		小学校算数		全体(国語+算数)	
	正答数/問題数	正答率(%)	正答数/問題数	正答率(%)	正答数/問題数	正答率(%)
南魚沼市	16.4/25	65.6	20.8/30	69.3	37.2/55	67.6
新潟県	17.1/25	68.4	21.3/30	71	38.4/55	69.8
全国	16.4/25	65.6	20.9/30	69.7	37.3/55	67.8

	中学校国語		中学校数学		全体(国語+数学)	
	正答数/問題数	正答率(%)	正答数/問題数	正答率(%)	正答数/問題数	正答率(%)
南魚沼市	29.2/41	71.2	30.6/51	60	59.8/92	65
新潟県	29.9/41	72.9	33.5/51	65.7	63.4/92	68.9
全国	30/41	73.2	33.3/51	65.3	63.3/92	68.8

全体的に見ますと、小学校は、ほぼ全国平均並み、中学校は、県・全国の平均よりやや低いということがいえると思います。

全国学力・学習状況調査の始まった平成19年度からの経年変化でみると、全国との比較において、小学校の国語は平均を前後し、小学校算数は、継続した向上が見られ、全国平均を上回りつつあります。

中学校では、国語、数学ともに全国平均を下回っていますが、昨年度より改善してきており、この傾向が続くよう教育水準の向上についての取組みを進めてまいります。

2. 秋田県での研修について

『秋田県の成績向上は、現場の先生と生徒が信頼関係を築くため、お互いに努力をした成果』で、まさにそのとおりです。秋田での研修を現場で生かす教育を実践することをお誓いいたします。

『子どもたちに学ぶことの意義を分かってもらうこと、学ぶことの楽しさを実感してもらうことが大切』であり、これが必要最低限の条件であると考えております。

教育委員会は、子どもたちが主体的に学ぼうとする意欲や態度を育成しなければなりません。それを可能にするのが、学校現場での日々の授業になります。授業改善なくして学力向上はあり得ません。日々の授業では、先生と生徒の信頼関係が最も大切であると考えております。

(担当：学校教育課)

◇議会の一般質問を傍聴して

【ご意見・ご提案など】

9月10日(水)初めて一般質問を聴きに行きました。勝又議員の質問は、小中学生を持つ親として、とても興味あることでした。テレビのニュースで秋田県の学校のことを放送しているのを見たばかりでしたので関心もありました。質問時間をみごとに使い切り、ユーモアもあり、コチコチになって聞いていた私と主人には少しほっとするところもありました。教育長の答弁も少し長いようでしたが、丁寧な回答だったと思いました。勝又議員の言われるように教育長は、いつもあのような感じで答えているのだと思い、時間のことなど忘れるほどでした。議長に促されていましたが、市長もとってもよく返していました。次の世代の教育に光を当てるような議員がいてくださり、力強く思いました。また、傍聴に行きたいと思いました。(また、聴きたいと思うからです)